

ISOC、ISOC-JP

Internet Society、ISOC日本支部

インターネット関係で世界最大の非営利団体。毎年主催しているINET国際会議では、インターネットのすべてを包括した議論が展開される

■ 組織概要

ISOC（インターネット・ソサエティ）は、1992年に設立されたもので、米国バージニア州（ワシントンの近く）に本部を置く、インターネット関係では最大の非営利団体である。この組織は一種の国際的な学会であるが、業界団体のような性格も持っている。会員数は、個人会員が数千人であるらしいが、その数は公開されていない。個人の年会費は35ドルである。

一方、ISOCには、企業も会員として参加していて、年会費が5万ドルおよび2万5000ドルのゴールド会員、1万および5000ドルの正会員、1000ドルなどの賛助会員が、合わせて約100社ある。

ISOCの運営は15名からなる理事会で行われている。日本からの理事は村井純氏（慶應義塾大学）で、ほかに後藤滋樹氏（早稲田大学）と筆者が名誉理事になっている。

■ 活動内容

ISOCは、国際的にいろいろな活動を行っているが、その主なものは、次のとおりである。

(1) 年1回のINET国際会議

1992年は神戸、1993年はサンフランシスコ、1994年はプラハ（チェコ）、1995年はホノルル、1996年はモントリオール（カナダ）、1997年はクアラルンプール（マレーシア）で開かれた。1998年のINET'98はジュネーブで、また、INET'99は6月にサンノゼで行われた。次のINET2000は横浜で行われる。

(2) インターネット技術の国際標準化

これはIAB（Internet Architecture Board）の下にあるIETF（Internet

Engineering Task Force）を中心に行われており、ISOCが資金面その他で援助している。インターネット技術の特徴は、技術開発とその標準化がIETFという草の根組織でボトムアップに行われていることである。IETFのメンバーは、常時メールをとおして連絡をとり合い、プロトタイプを開発していて、年3回のface-to-faceの会合でものごとを決めるので、標準化のプロセスは速い。最近の主要テーマはIPv6（次世代プロトコル）およびモバイル技術である。

(3) IPアドレスとドメイン名の割り当て

IPアドレスやポート番号などの割り当てはこれまでIANA（Internet Corporation for Assigned Names & Numbers）で行われることになった。日本からの代表は前記村井純氏である。

一方、トップレベルのドメイン名（TLD）を拡張する計画がISOCでまとめられ、1998年の中も活発な議論が行われた。これは、従来、com主体であったドメイン名（TLD）に、firm、shop、info、web、rec、arts、nom（個人名）を追加しようというものがある。また、割り当てについては、米政府の援助でInternicがNSI社1社に独占させていた業務（手数料収入がある）をもっと多くのレジストラーに分担してやらせることになっている。この案の推進はICANN

に委ねられている。

(4) 会誌の発行

48ページ程度の『On The Internet』が年6回刊行されている。このほか、電子メールによるニュース配信が毎月1回程度ある。

■ ISOC-JP（日本支部）

これは、1994年8月に、ISOC支部として初めて認められた支部であり、日本に存在するISOC会員は自動的にISOC-JP会員となる。この日本支部では、とくに会費は徴収せず、もっぱらボランティア活動で運営されている。役員は、筆者のほか、後藤滋樹氏、村井純氏、太田昌孝氏（東京工業大学）などである。ISOC-JPの主な活動としては、年3回開かれるIETF報告会がある。これは、IETFに出席した人々に、IETFでいろいろなインターネット技術についてどんな議論が行われたかを報告してもらう会である。

（石田晴久 多摩美術大学教授）

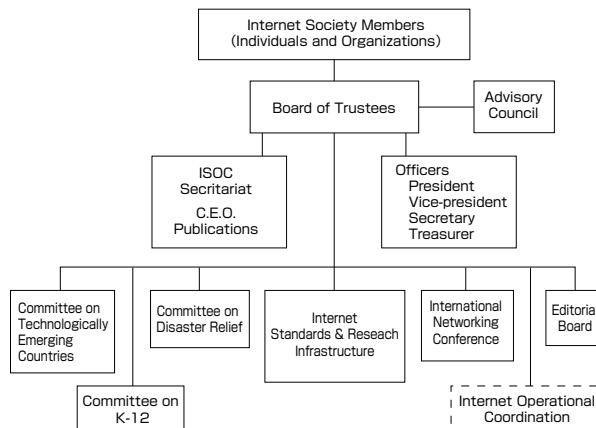


図1 ISOCの構図

<http://www.isoc.org>

<http://www.iaj.or.jp/isoc-jp/>

問い合わせ先

ISOC

isoc@isoc.org
+1-703-326-9880
+1-703-326-9881

ISOC-JP（日本）

sec@iaj.or.jp
TEL、FAXはIAJが窓口となる



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp